

2024.11月

銀の汗 Again

A面

新座市のサングリーンタケシノ



インプループ建装様



サングリーンタケシノ

秋晴れと呼ぶには気温の高い9/24.26日
サングリーンタケシノ800㎡の現場で
初めてUNマシンを採用いただいた
インプループ建装様
「早くて、楽で、驚きました」と施工後
ご満足いただけました。
日本語がたどたどしい、アームストロング
オズマ似の、おそらく技能実習生さんも
ニコリ、グッドと拳を握って応えて
いただきました。
さあ！繁忙期の10月よりUN最高記録で
進んでいきます！！

日本貨物大宮車両所



鉄道ファンにはたまらない、日本貨物鉄道株式会社、関東支社、大宮車両所では
操業開始130周年を記念し、EF65型式国鉄特急色見学会を2024年9月に開催
往年の客車列車をけん引した国鉄特急色を建屋内で見学・撮影するイベントは
マニアックファンには見逃せないものとなりました。

その建屋650㎡屋上を、10月6・7日でUN施工。
EF65型式に負けない、マニアックなUN5号車は毎分10リットル吐出で
ギアポンプも快調に、ウレタン圧送を行いました。

間違わないようにタフガイ



UNマシンの重要なセールスポイントは
サラセーヌ商材の、サラセーヌK・サラセーヌA
サラセーヌEZ・サラセーヌD・サラセーヌHなどの
汎用材すべてをコンピューター設定により
その材料に適した流量を均一に流せる事です。

昨今はタフガイ工法の1層目サラセーヌK、2層目
サラセーヌAなどの工法が伸びており、圧送現場に
おいて、材料を間違わないように圧送開始前に
テープやマジックで材料の識別確認を行っています。

廃液処理 現場あれこれ



①ぱんぱんで吹いてる



貼り紙

②フタを開けると固形化が進む



③削るとペットボトルが



④ペットボトルを除く作業

フタ下10cmめどで廃液処理をお願いしていますが、ぱんぱんで吹きこぼれているドラム缶がありました。フタを取ると固形化が進み、念のため削っていくと、ペットボトルが混入していました。アウト～、ドライバーは、さらに削り不要なゴミを取り除き処分場に持ち込みました。何とかギリギリで廃液処理として処分いただく運びとなりましたが、ゴミ混入は処分不可となっています。ご注意事項の貼り紙ご確認の程よろしくお願いたします。

2024.11月

銀の汗 Again

B面

プレミアムインセンティブショー



多くの来場者が



気になる商材は写メをとります



折り畳み傘の柄が刀模様

年末年始の販促アイテムや2025年に向けた新製品が盛り沢山の、第70回プレミアムインセンティブショーが池袋のサンシャインシティ文化会館で本年最後の見本市として開催。特販チームとしてお付き合いのあるタオルメーカーなど数多くのノベルティグッズが展示されていました。同時にリテールプロモーションアワードの表彰式がありました。その中で時代の流れとして販促は点ではなく面で展開する流れの話があり、実際に大阪アートデザイン2024では競合するライバル店(高島屋・大丸・阪急・阪神)などが他社の案内チラシをお互いの店舗に置き、面で相乗効果を上げた事例発表がありました。面で展開する考えは多いに参考になります。面・面・麺? そうだラーメン二郎だ大勝軒だと、その後ラーメン屋で作戦会議が始まりました。

すすき野第二団地UNフィニッシュへ



37棟820戸の大団地の内、5-1号棟から5-13号棟までの計13棟分をUN施工

7月よりスタートした、青葉区のすすき野団地が10月で、いよいよUN施工を終える事になりました。820戸の大規模団地の内、5-1~13号棟までの都合13棟、6,000㎡を4ヶ月かけて施工を行いました。通常は棟をこなせばこなすほど職人さんもUN施工に慣れてスピードがアップしますが、この現場は多くの職人班が入り乱れ、1層目と2層目が違う職人さんが施工を行い、2層目に再度レバーやトランシーバーの取り扱い説明を行うなど、施工スタート時に多くの職人チームと会話を交わしました。が、さすがに10月になるともう馴染みの方々になり、そしてスピーディーに現場が進んでいきました。気温は例年より高いままですが、いつの間にか入道雲から翳雲に変わった空を眺めながら、屋上より施工を終えた13棟を眺め「よし! 明日からまた、次の現場が待っている」とUNマシンに乗り込みました。

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省カ化など)

ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシン にて検索

【sweat of silver】

カミナリ様とお日様・お月様の3人が旅に出て、宿に泊まり、カミナリ様はゴロゴロとイビキがうるさいので一人離れに寝かされ、翌朝お日様とお月様が先に旅立たれました。いつまでも寝てるカミナリ様に女中が起こしに伺い、両名が先に旅立ったと知った時「月日の経つのは早いものだな」と叫び「お客様はいつお立ちになりますか」と聞かれたカミナリ様は「あたしゃもちろんタ立だ」の小話を舞台上で披露したのは8年前、(銀の汗43号参照)あれからもう8年と思うほどですが、あと2ヶ月で2024年が終え2025年がやってきます。本当に月日の経つのは早いものです!

ジャーネーの法則「時間の心理的長さは年齢の逆数に比例する」によると、年をとると時間が早く感じるのは、生活に新鮮味がなくなるからです、子供の頃は新しい経験や発見がありますが、大人になれば新鮮味のあるものに接する機会が少なくなり時間があっという間に過ぎていきます。そして同じことの繰り返しでマンネリになる事が時間が早く感じる原因と考えられます。

要は、情熱や好奇心を無くした時に段々時が早くなるのではないかと思います。何かに挑戦している人の姿は美しい、「天が、わしをもう5年間だけ生かしておいてくれたなら、私は真の画家になっただろうに」と90歳の北齋が臨終の際に言ったそうです。

書を捨て街に出よう、街は好奇心に溢れています、いつもと違う道を歩こう、そこには知らない花が咲いてるはず。ルーティンワークに凝り固まった身体に新鮮な空気を入れましょう。いつか人は引退します、でも引退した後も長い人生は続きます。街からはメロディが流れています。あれも欲しい、これも欲しい、もっと欲しい、もっともっと欲しい、あれもしたい、これもしたい、もっとしたい、もっともっとしたい♪ザ・ブルーハーツ「夢」